

れんけいわ!

地域医療支援病院
広島県指定がん診療連携拠点病院
災害拠点病院
広島D M A T 指定病院
日本医療機能評価機構認定病院



TOPICS

- ◆ 「新年のご挨拶」 病院長 寺坂薫
- ◆ 「放射線治療装置更新のお知らせ」 放射線治療科 部長 吉田敦史
- ◆ 「在宅医療・介護連携推進コーディネーターについて-在宅療養を支える医療と介護の橋渡し役です-」
呉市在宅医療・介護連携推進コーディネーター 斎藤愛
- ◆ 「地域医療連携室NEWS」

病院の理念

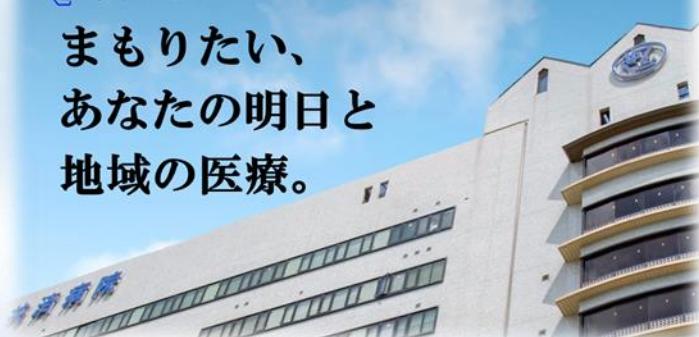
高度・良質の医療 最善の奉仕
研鑽と協調 地域医療の支援

基本方針

- 一 良質で適切な医療の提供に努めます
- 二 患者の権利を尊重し患者さんの満足・安心・信頼を追求します
- 三 新しい知識と技術を積極的に習得し常に質の高い先進的医療を行います
- 四 地域の中核病院として地域社会の要請に応えうる医療を提供します
- 五 職員が意欲をもって働く病院をめざします
- 六 次代を担う有能な医療従事者の育成をめざします
- 七 専門的ながん医療の提供に努めます
- 八 国内での医療救護活動に積極的に参加します

呉共済病院キャッチコピー

まもりたい、
あなたの明日と
地域の医療。



呉共済病院は、県指定のがん診療連携拠点病院です。
がん検診などでがんの疑いがあると診断された患者さんの
精密検査や治療を行っています。是非ご紹介ください。

地域医療連携室 NEWS

	2023年10月	2023年11月	2023年度累計
紹介患者数《初再診全て》	918	963	7637
逆紹介患者数	897	888	7131
紹介率	73.3%	72.8%	71.1%

新年のご挨拶

病院長 寺坂 薫



新年あけましておめでとうございます。開業医の先生方には、いつも多くの患者様を紹介していただき、ありがとうございます。

2024年は干支でいう「甲辰（きのえたつ）」です。「甲」はまっすぐに堂々とそそり立つ大木を表しています。「辰」は水や海の神として祀られており、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。2つの組み合わせである甲辰には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表しています。



2020年1月15日に日本で最初の新型コロナウイルス（COVID-19）感染者が確認され、変異株の出現やクラスターなど、大変な世の中となりました。その後、2023年5月8日に2類から5類となり、不要不急の外出、移動制限も緩和され、インバウンドも増加し、患者様も医療機関に大分に来院しやすくなっています。

一昨年より病院の理念とは別にキャッチコピー「まもりたい、あなたの明日と地域の医療。」を、また、このキャッチコピーを実行するための約束事であるクレド（信条）「①心のこもった挨拶と笑顔で接する、②患者さんに寄り添った医療サービスを提供する、③先進的な医療の提供を行う、④プロフェッショナルとしての自覚を持って医療を行う」を作成しました。本年もこの気持ちを忘れず、精進いたします。

「うしろをふり向く必要はない。あなたの前にはいくらでも道があるのだから。」と魯迅（中国の小説家）の名言があります。

ウクライナ侵攻、パレスチナ情勢など世界、社会、経済も色々問題はありますが、医療・介護・福祉の激動期にいる私たちが、より広く深く多くの情報を収集し、分析、検討、情報交換を行いながら、常に変化し、これからも皆様（患者様）の気持ちに寄り添った治療を尽くし、安心して暮らせる医療を提供できますように努力していきます。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

放射線治療装置更新のお知らせ

放射線治療科 部長 吉田 敦史

当院は2023年度に放射線治療装置を更新することとなりました。

更新に際しては、購入から運用開始までの間に放射線治療の質と安全性の確保にとって非常に重要な多くの作業を行わなければならず、治療の休止期間が長くなります。過去の照射事故の原因は、測定方法や機器操作の未習熟、治療計画装置の理解不足・データ登録ミスなどヒューマンエラーによるものが少なくなく、装置導入時の作業において発見可能な原因がいくつも存在することがわかってきます。

受入れ試験

受入れ試験は、業者が主体で行なわれる装置の性能と安全性の確認をする試験です。受入れ試験時は装置の操作を習得する上で重要な期間です。受入れ試験の結果は、今後の装置の品質管理を行っていく上での基本データとなり重要です。受入れ試験・取扱い説明後、受渡しが行なわれ、その時から装置の責任主体が業者からユーザーに移行します。

線量測定・ビームデータモデリング

放射線発生装置は装置個々でビーム特性が異なり、ユーザーの責任において線量測定を実施する必要があります。ビームモデリングとは、放射線発生装置個々のビーム特性や幾何学情報を治療計画装置にモデル化・反映するための作業です。ここでは多くの手入力が存在し、ヒューマンエラーのリスクが高い作業です。米国ではビームモデリングの作業は一般的に「医学物理士」の業務であり、責任の所在も「医学物理士」にあります。

コミッショニング

コミッショニングとは、「受入れ試験に引き続いだり、ビームデータ等装置の臨床利用に必要なデータ取得、計画装置への入力、登録データ確認などを行う一連の作業行程」などと説明されます。コミッショニングは装置の問題点・使用上の注意点を浮き彫りにし、不適切な臨床使用を防ぐために重要な行為です。また、装置導入時に全ての臨床使用を想定するには限界があり、コミッショニングに終わりは無く、臨床利用開始後も適宜コミッショニングを実施することが肝要です。

当院もこれらの作業を2023年6月から2024年1月までの期間を費やして行いました。

導入された放射線治療システムは、米国バリアン社製の照射装置VitalBeamおよび治療計画装置Eclipse、治療計画用CT装置がシーメンス社製ゾマトムgo sim/go Open Proです。これらにより従来の3次元放射線治療はもちろん、高精度放射線治療にも対応可能となりました。

ただし、強度変調放射線治療（IMRT）に関しては人員配置など施設基準の問題で現在対応が困難なため、当面は広島がん高精度放射線治療センターをはじめとする近隣施設とも連携しつつ、ADLに問題を抱える高齢者にも柔軟に対応できる当院ならではの放射線治療で、地域医療に貢献したいと思います。



呉市在宅医療・介護連携推進コーディネーターのご紹介

退院前カンファレンスに参加して頂いたり、在宅医療・介護サービスとの連携ではとてもお世話になっています。より一層連携を深めるためにも、あらためて活動内容を教えて頂きました。

在宅医療・介護連携推進コーディネーターについて

－在宅療養を支える医療と介護の橋渡し役です－

呉市在宅医療・介護連携推進コーディネーター 齋藤 愛



1 活動目標

令和4年4月より呉市医師会から呉市福祉保健部高齢者支援課へ出向し、医療と介護の両方を必要とする高齢者へ、切れ目ない医療と介護の一体的実施を目指した体制整備に取り組んでいます。『在宅療養を支える医療・介護関係者の皆さまの声を聞き、その声を反映させてより一層の連携・協働を推進する』ことを目標に活動しています。

2 主な活動内容

(1) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

医療・介護関係者や地域包括支援センターからの在宅医療・介護連携に関する相談を受け付け、解決の為の連携調整や要望を踏まえた関係機関・地域資源等の情報提供などを行っています。具体的に、地域医療連携室からの退院支援に関する相談では、退院前カンファレンスに参加させていただき、現場の声を聞きお困り事を肌で感じながら解決策を一緒に考え、連携調整しながら本人の意向に沿った退院支援に取り組みました。

(2) 関係機関等との連携強化

在宅医療と介護の連携を推進するためには、多職種間の相互理解と情報共有が不可欠です。その取組の一環として多職種連携研修会を開催し、顔の見える関係構築や情報共有などを図っています。

第1回は『医療も介護も「ごちゃまぜ」で顔の見える関係を作ろう』をテーマに、退院前カンファレンスの場面で自分の職種と違う役割でのロールプレイを行い、相互理解を深めました。第2回は、『医療と介護の前向き座談会～円滑な入退院支援を目指して～』をテーマに、パネルディスカッションやワールドカフェ方式の座談会を行い、職種の垣根を越えた意見交流を図りました。

今後も医療・介護関係者のニーズに沿った研修会を開催し、『顔の見える関係、顔の浮かぶ関係』の構築が益々進むよう取り組んでまいります。

(3) 地域住民と医療・介護関係者への普及啓発

地域住民に在宅医療や介護の現状を知ってもらい、在宅医療・介護連携の理解を深める啓発や人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発を行っています。

さらに、医療・介護関係者の皆さまが、人生会議や本人の意思決定支援について理解を深め、実践的支援に活かせるよう普及啓発に取り組んでまいります。

呉市在宅医療・介護連携に関する相談窓口

【相談先】呉市福祉保健部高齢者支援課 TEL (0823)25-3138 FAX (0823)22-8529

呉市在宅医療・介護連携推進コーディネーター 齋藤 愛

TEL : 080-4922-7645 E-mail : kurechikicare3402@gmail.com

【受付時間】月・火・木・金（祝・年末始休除く）8:30～17:15

『相談を受ける』のではなく『相談(事)を解決する窓口』として、解決策と一緒に悩み考えサポートします。遠慮なくご相談ください。